

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成28年12月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①②、図2）

F 1 噴気孔群及びF 2 噴気孔群の噴気の高さは火口上200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・地震及び微動の発生状況（図1-③）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図1-④⑤）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

次回の火山活動解説資料（平成29年1月分）は平成29年2月8日に発表する予定です。

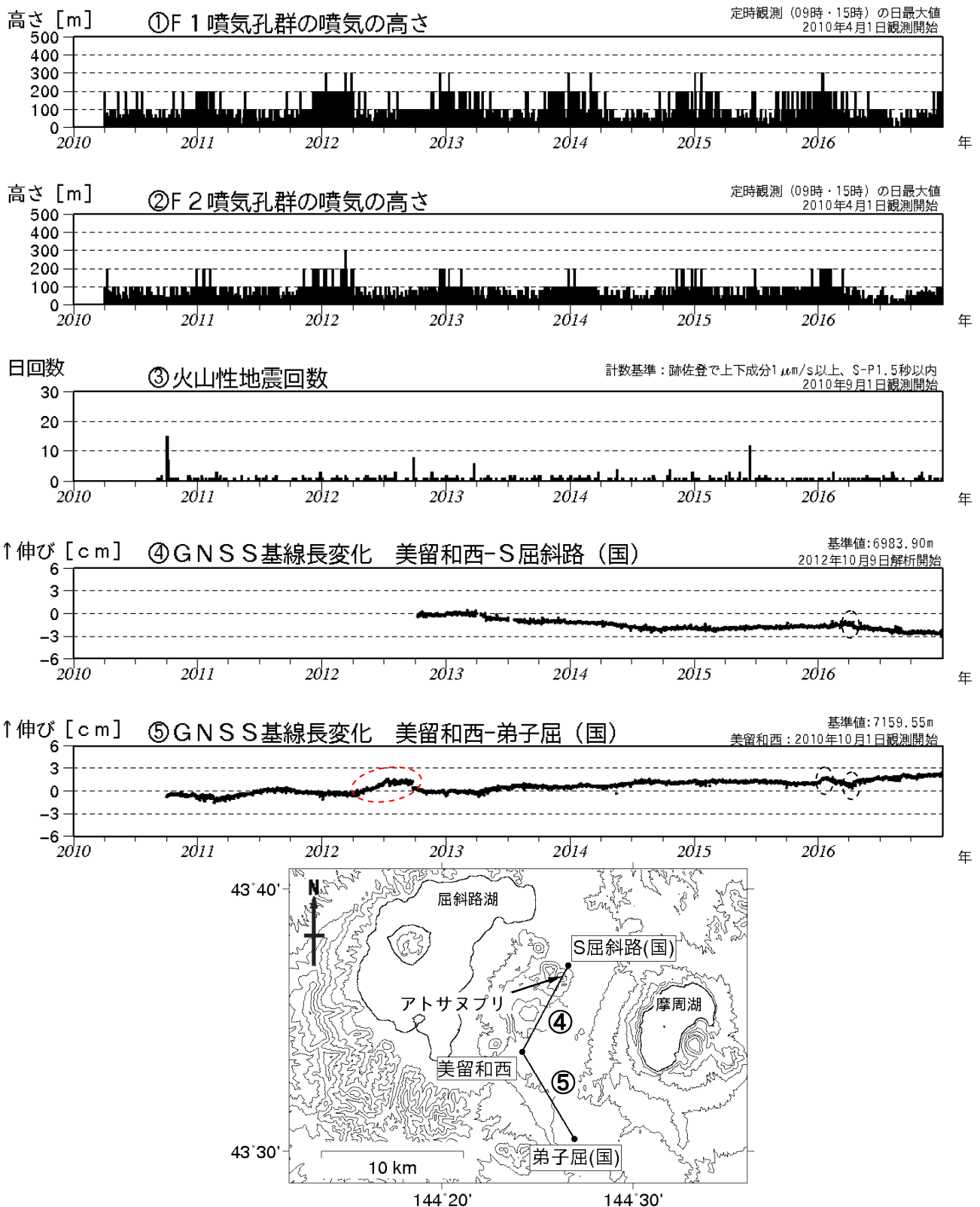


図1 アトサヌプリ 火山活動経過図 (2010年4月~2016年12月) 及びGNSS連続観測点配置図

- ・GNSS基線の④⑤は観測点配置図の④⑤に対応しています
- ・GNSS基線の空白部分は欠測を示します
- ・④⑤の黒破線円内の変化は、美留和西観測点の局所的な動きによるもので、火山活動によるものではないと考えられます
- ・⑤の赤破線円内の変化は、弟子屈(国)付近の樹木の影響及び伐採 (2012年9月下旬) によるものです
- ・(国): 国土地理院

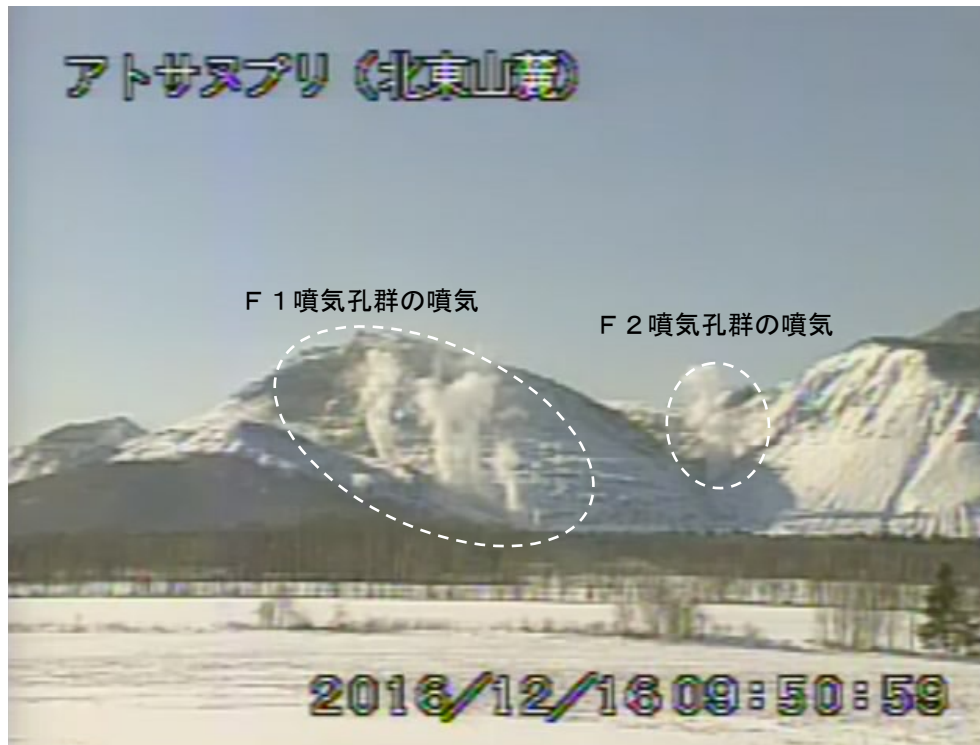
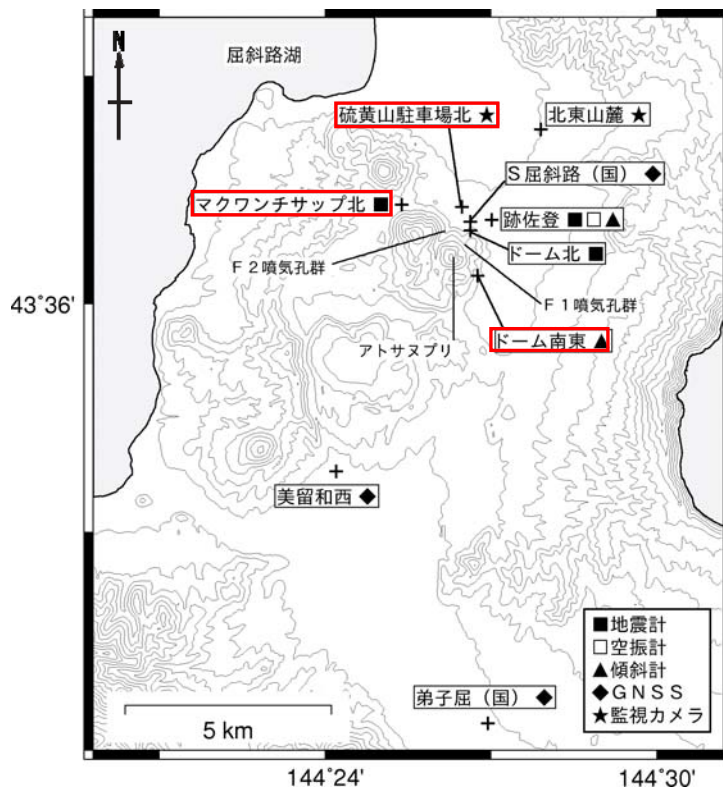


図2 アトサヌプリ 北東側から見た山体の状況
(12月16日、北東山麓監視カメラによる)



□ : 2016 年 12 月 1 日から新たに
運用を開始した観測点

図3 アトサヌプリ 観測点配置図
+印は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
(国) : 国土地理院

気象庁観測点一覧表 アトサヌプリ (緯度・経度は世界測地系)

2016 年 12 月 1 日から新たな観測点の運用を開始しました。

記号	測器種類	地点名	位置				観測開始日	備考
			北緯(度分)	東経(度分)	標高(m)	設置高(m)		
■	地震計	ドーム北	43 36.97	144 26.62	210	0	2008 年 11 月 19 日	
		跡佐登	43 37.11	144 27.01	156	-154	2010 年 9 月 1 日	
		マクワンチサップ北	43 37.30	144 25.39	221	-3	2016 年 12 月 1 日	広帯域
□	空振計	跡佐登	43 37.1	144 27.0	156	2	2010 年 9 月 1 日	
★	監視カメラ	北東山麓	43 38.3	144 27.9	149	6	2010 年 4 月 1 日	可視
		硫黄山駐車場北	43 37.3	144 26.5	173	3	2016 年 12 月 1 日	可視、熱映像
◆	GNSS	美留和西	43 33.8	144 24.2	172	4	2010 年 10 月 1 日	
▲	傾斜計	跡佐登	43 37.1	144 27.0	156	-154	2011 年 4 月 1 日	
		ドーム南東	43 36.4	144 26.8	210	-15	2016 年 12 月 1 日	

□ : 新たに運用を開始した観測点

広帯域地震計: 噴火に先行して発生する可能性のある低周波地震や傾斜変動等を精度よく捉えることが出来る地震計